

令和6年度心のバリアフリー教育グッドプラクティス 応募資料

| | | |
|-----------------------------------|---|--------------|
| 学 校 名 | 袖ヶ浦市立平川中学校 | |
| ア 全校児童生徒数 | 207名 | (令和6年5月1日現在) |
| イ 実践対象 (学年・人数など) | ①有志50名 ②全校生徒207名 ③希望者63名 ④有志30名、吹奏楽部5名 ⑤1学年(2クラス)63名 ⑥1年生(2クラス)63名 ⑦吹奏楽部5名 ⑧吹奏楽部5名 ⑨全校生徒208名 ⑩2学年70名 ⑪全校生徒208名 ⑫全校生徒208名 ⑬吹奏楽部5名(予定) | |
| ウ 実践内容 (実施時期・概要など) ※画像の挿入可 | ①ふるさと運動：地域の環境美化作業(5月) ②両性の平等を学ぶ道徳(7月)「ちがいのちがよい」 ※全学級で実施 ③地域の先生から学ぶ夏季特別講座(8月) 筆ペン、平和学習、ボッチャ、野菜飼育、レジャーシートづくり、凧作成と凧あげの6講座開設 ④敬老会、独居老人へのボランティア活動[絵手紙と音楽演奏](9月) ⑤ボッチャ体験会(11月)市スポーツ振興課2名、スポーツ推進委員1名 ⑥楨の実特別支援学校とのボッチャ交流会(11月) 楨の実特別支援学校中等部11名 職員6名 ⑦平岡公民館まつり参加 吹奏楽部演奏、美術作品展示(約100作品) ⑧平川公民館まつり参加 吹奏楽部演奏、美術作品展示(約100作品) ⑨救急救命講習会(11月) ※学年ごとに実施 平川消防署員11名 ⑩認知症サポート講座(11月) 平川地区地域包括センター職員2名 ⑪星野富弘さんに学ぶ[道徳](11月) 講演会：友「星野富弘」を語る(11月) 講師：聖生清重氏(富弘美術館館長)・渡邊護氏(本校元校長、群馬大学ご学友) | |
| エ 実践の普及啓発 (地域等との交流や 広報方法など) | ①・③～⑫ 活動の様子を学校ホームページに掲載 ⑨新千葉新聞掲載 ⑩公民館にポスターを掲示、新千葉新聞掲載、広報そでがうら掲載予定 | |
| オ 実践成果 (児童生徒の変化など) | ①地域の方々とともに自分の住む地域の美化作業に取り組んだ。教職員も担当地区での作業を行った。 ②多くの生徒が他者の考え方に理解を示し、個性を尊重しようと考えた。事後アンケートでも前向きに生活していることがわかった。 ③地域の方を講師として6講座実施。普段関わりの少ない方とのふれあい | |



| | |
|-------------------------------------|--|
| | <p>は年代を超えて刺激があり、どの講座も時間の限り活動した。</p> <p>④ 5日間の昼休みを使い、地域のお年寄りに向けて絵手紙を作成した。一生懸命言葉を考えるなど、地域の若者としての自覚と優しい心が育まれた。また、お返しのお手紙をいただくなど交流を深めることができた。</p> <p>⑤⑥ ボッチャ体験会ではルールや審判方法を学び、翌日には、榎の実特別支援学校との交流会を実施した。交流会では同年代の友達と競い合ったり称え合う姿が見られた。</p> <p>⑦⑧ 普段から平川中学校を応援して下さる地域の皆様にお礼の気持ちを込めて一生懸命演奏した。また、美術科や美術部の作品を多くの人に鑑賞していただいた。</p> <p>⑨ 緊急時に躊躇なく行動できる人に育ててほしいという学校長の思いと消防署員のご協力のもと実施した。胸骨圧迫やAED使用方法等、大変よい学びとなった。</p> <p>⑩ 地域包括センターより2名の職員をお迎えし、高齢化の進む地域に住む一員として、認知症の理解と対応を学ぶことができた。</p> <p>⑪ 「星野富弘さんの生き方から、よりよい自分の生き方を考える」というテーマで3時間展開の道徳と1時間の講演会を実施した。自分の心と富弘さんの詩画を重ね合わせながら、自分の心に残った詩画を紹介しあった。講演会では、富弘さんの同級生であるお二人から、努力を重ねれば何でもできるようになること、感動こそ生きる力であることを学んだ。障がいや困難に負けないこと、そこには人と人のつながりで支え合って力強く生きていくことの尊さがあることを学んだ。</p> <p>⑫ 男女共同参画社会の実現に向けて、男女に関わらず、それぞれの能力を活かし、様々な活動に取り組んでいく意義について学んだ。</p> |
| <p>カ 次 年 度 の 予 定 (課題や改善策など)</p> | <p>① 部活動等の日程を調整しできる限り多くの生徒や教職員が参加できるようにすることで、参加者の拡充を図る。</p> <p>② LGBTQについての考えをより深めるために、多くのちがいについての題材を検討し、次年度も全校で共通の内容を考え取り扱う。</p> <p>③ 地域の方からプロフェッショナルを探し、8講座以上の開設をする。</p> <p>④ 筆ペン講座とタイアップし、より多くの絵手紙を作成し配付する。</p> <p>⑤⑥ 次年度も榎の実特別支援学校との交流会を継続する。</p> <p>⑦⑧ 次年度も吹奏楽部演奏と美術科作品展示をおこなう。</p> <p>⑨ 今年度は、1日3コマでの実施であったが、消防署の業務を考えると日をずらしての実施も検討する。</p> <p>⑩ 毎年2年生で実施している。来年度も同様の形で実施したい。</p> <p>⑪ 道徳では「星野富弘さんを知り、自分の生き方を考える」というテーマについて3時間展開で実施したことで、「知る」「感じる・見つける」「語り合う」「深める」という貴重な機会となった。来年度も同様の計画で他の題材を検討したい。</p> <p>⑫ 次年度も実施できるように検討する。地域や保護者の参加を募る。</p> |
| <p>キ 添 付 資 料 (広報資料・Web記事など)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校ホームページ掲載日時一覧 資料 1 ・ 教育講演会開催ポスター (公民館掲示) 資料 2 ・ 心のバリアフリー教育新聞 (校内および公民館掲示) 資料 3 ・ 新千葉新聞記事 資料 4、5 |